

岡島 一恵 (大阪市立大学循環器病態内科学)

【留学先】Columbia University, Echocardiography laboratories

【テーマ】心エコー図法による心機能評価 -臨床例から実験動物-

【経過報告書】

私は 2004 年 9 月より、米国ニューヨーク州のマンハッタンにあるコロンビア大学 Presbyterian Medical Center で、本間俊一教授のもと心臓超音波に関する研究を行っています。伝統的に従事している超音波を治療に応用した High intensity focused ultrasound (HIFU) による心筋焼灼術の動物実験をはじめとし、コラボレートしているラボの様々な動物の心機能評価、さらには経カテーテル治療にからんだ臨床症例の評価まで、非常に多彩な分野で心エコー図法に関する研究に携わっています。小さなものでは超高周波 (30MHz⁺) Probe によるねずみの弁の評価から、果ては日本では経験しえないりっぱな体格をされた方の 3D エコーまで幅は広く、心エコー図法の基礎にたちかえり考えさせられることも多く、非常によい経験をさせてもらっています。臨床においては、お国柄上患者層も様々なため、時に母国語以外全く話せない患者に遭遇し苦労することもあります。しかし負けず劣らずエコーラボ内の Co-worker たちの層も厚く、いつもなにがしか通訳を見つけることができ、文化の違いを感じるとともに周りのサポートに深く感謝している次第です。生活面では現在の NY は十～数年前に比べても非常に治安が改善しており、格別こわい思いをすることもなく、衣食住にともに堪能できる街で楽しく研究生活を続けています。最後になりましたが、貴学会からの助成をうけ、このような環境で研究に従事できることを心から感謝し、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。(平成 17 年 10 月)

【帰国報告書】

2004 年 9 月より 2007 年 8 月まで米国ニューヨーク州マンハッタンにあるコロンビア大学で心エコー図に関する研究をおこなってきました。いままでも多々報告があったかと思いますが、やはり我が研究室の特徴は心エコー図に関係した研究が非常に多岐にわたるといえることだと思います。伝統的に従事している治療用超音波 (High Intensity Focused Ultrasound) の臨床応用にむけての実験、高解像度心エコー図を用いた基礎実験動物の心機能評価、経皮的治療 (弁膜症、心筋症、不整脈) における術前後評価などの Intervention Team との臨床共同研究、心移植における拒絶反応の予測、そして高血圧グループや脳神経グループとも共同でおこなっている疫学研究などが代表的なものです。それぞれの分野に著名な先生方がおられ、本間俊一教授を窓口としおのおの Research Fellow が興味ある分野をほりさげて研究にたずさわっていました。テーマそのものが非常に興味深いものばかりでしたが、さらにそれぞれの分野 (基礎、臨床、疫学) における運営や System の違いも体験でき非常に有意義でした。

臨床研究に関しては現地の Clinical Fellow と協力して共に研究をすすめることが多く、彼らを通じて日常臨床現場の一部を垣間見ることができました。好ましく思われたことは医者および医療従事者間で老若男女をとわず皆非常によく発言をすることです。これは積極性の表れと同時に意見、質問しやすい Frank な上下左右の関係のためと思われます。逆に日本の臨床になれていると少し違和感をおぼえたのは、医療の分業化が進んでいることです。非常に Professional に客観的な判断ができるのがよい反面、連携プレー性では少しおとるよう感じられました。時間、分野間の分業のみならず、診断、治療、経過観察など過程の分業も日本以上に独立しているため、たとえば治療当日に入院してくる患者さんが外来でうけた治療内容の説明との違いに戸惑われている現場もたびたび見かけました。

その他当研究室の特徴として本間教授のもと日米の交流に非常に熱心であったことがあげられるかとおもいます。海外学会のおり立ち寄っていただいた日本の先生方との交流をはじめ、日本より定期的に受け入れていた医学生の方々も皆こちらの臨床研修医・医学生に混じり充実した時をすごされていたようです。日本とアメリカの架け橋にという教授の思いが反映されているかと思えます。

さて生活面では上述した学友のみならずいろいろな分野で交友を広げることができました。東海岸の人々はあまり Friendly でないといわれがちです。しかしむしろ非常にさまざまな Background の人々が集まってきているためか、Native Speaker でない私にも比較的寛容であり、皆と親しくなりやすかったように思います。さらに皆基本的に Off の楽しみ方が非常に上手で Private の時間で交友を広げることも多く、職場のみならず趣味などを通じて分野の違う友達ができただけでなく財産のひとつとなっています。

また NY は物価、家賃がかなり高く留学生には大変かと思われるようです。しかし名だたる楽団、歌手による舞台、また野外映画などが無料で公開される Event が数え切れないほどあり、みなこのような Event をうまく利用して生活を Enjoy しているように思います。かつ観劇や習い事自体の単価も安く、総合的にみると工夫次第で高い物価を上回るお得で充実した留学生活を送れるように思います。

甘すぎるお菓子にすっかり慣れてしまい、私の口には大きすぎるアメリカサイズの歯ブラシで歯をみがき続け、かつ高額である歯科治療を敬遠し、留学中に計 5 個も虫歯ができていたことが帰国後判明しました。笑い話のようですが以上大味でおおらか、Big なお国柄と、しかし万人向きとはいえない保険制度 System などアメリカの特徴の一部を物語っているかと思えます。学び体験した日米、さらには NY を通じてみたその他の国々の文化や System の違いを、今後役に立てていければと思っています。最後になりましたがこのような機会にご支援いただいた貴学会に対し改めて厚く御礼申し上げます。(2007 年 11 月)